

「新箕面市アウトソーシング計画」 を策定しました

閩行財政改革推進室 ☎724・6765 FAX723・2096

コロナ禍の影響による市税収入の減少などにより、当面は厳しい行財政運営が強いられる見通しです。また、社会環境の変化により、市民ニーズは多様化しており、限られた財源や人材では、これらのニーズに応えることが難しくなっています。

そこで市では、民間の優れた技術・知識・経験などをより効果的に活用し、質の高いサービスを持続して提供するため、「新箕面市アウトソーシング計画(新MOS計画)※」を策定しました。今回はその内容の一部を紹介します。

※「新MOS計画」は、今年2月に策定した「市新改革プラン」で掲げる改革の柱の1つです。

アウトソーシングを計画している 5つの事業

1 ごみ 令和4年度に燃えるごみの収集、令和9年度にペットボトル・大型ごみの収集の完全委託化を予定しています。その他の事業についても、職員の定数管理に応じて、順次委託化を進めていきます。

2 保育所
3 幼稚園 「市新改革プラン」では、『公立幼稚園の段階的な廃止』『公立保育所の民営化拡大』を掲げていましたが、市議会、教育委員会、市で改めて検討を行った結果、これらを直ちに進めることは時期尚早であると判断し、右記の3つの方針を決定しました。この方針に基づき、さらに質の高い教育・保育を持続的に提供していきます。

4 学校教育の関連業務 教育委員会事務局の定型的な業務(受付、入力・点検作業など)の委託化などを、10月から段階的に進めていきます。

5 戸籍の関連業務 現在の窓口委託契約が更新を迎える令和7年度から、委託する業務内容を拡大します。

方針① 公立認定こども園の設置をめざす

地域バランスを考慮して公立幼稚園・保育所(計8園所)を再編し、西部・中部・東部に1園ずつ、「公立認定こども園」の設置をめざします。

方針② 民営の乳児特化型保育園の設置をめざす

公立保育所の既存施設を活用して、0歳～2歳の乳幼児特化型保育園として民営化をめざします。

方針③ (仮称) 幼児教育センターの設置をめざす

保育士や幼稚園教諭への情報交換の場の提供、支援教育を始めとする研修の実施など、就学前教育・保育の質の向上を目的とした(仮称)幼児教育センターの設置をめざします。

●公立幼稚園・保育所のこれから(予定)

せいなん幼稚園	令和9年度に「(仮称)せいぶ認定こども園」※1(3歳～5歳児対象)に移行
かやの幼稚園 なか幼稚園	令和6年度に「(仮称)ちゅうぶ認定こども園」※2(0歳～5歳児対象)に移行
とよかわみなみ幼稚園	令和9年度に「(仮称)とうぶ認定こども園」※3(3歳～5歳児対象)に移行
稲保育所	令和5年度に民営化(0歳～5歳児対象)
桜ヶ丘保育所	令和9年度に民営化(0歳～2歳児対象)
萱野保育所	令和6年度に「(仮称)ちゅうぶ認定こども園」※2(0歳～5歳児対象)に移行
東保育所	令和9年度に民営化(0歳～2歳児対象)

※1 せいなん幼稚園と桜ヶ丘保育所の機能の一部を統合して設立
 ※2 かやの・なか幼稚園、萱野保育所を統合して設立
 ※3 とよかわみなみ幼稚園と東保育所の機能の一部を統合して設立

「新MOS計画」の計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間です。
この計画による累積効果額は約15億円になります。

「新箕面市アウトソーシング計画(新MOS計画)」について、詳しくは市ホームページ(QRコードからアクセス)をご覧ください。



箕面市議会 閩議会事務局 ☎724・6705 FAX724・1568

地域別意見交換会

より開かれた議会となるために、全議員23人が3班に分かれ、以下の小学校区で意見交換会を開催します! みなさんから聞き出した各地域の課題を共有し、議会での議論などへつなげていきます。



西南小校区
11月6日(土) 午後6時～
コミュニティセンター西南小会館

萱野北小校区
11月13日(土) 午後2時～
コミュニティセンター萱野北小会館

萱野東小校区
11月13日(土) 午後6時～
コミュニティセンター萱野東小会館

いずれの会場も、事前申込制です! 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、今回は事前申込制で開催します。

☎各小学校区にお住まいのかた ☎各20人(申込順)
☎各開催日の前日までに議会事務局(☎724・6705 FAX724・1568)へ
新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催を中止する可能性があります。

※手話通訳・要約筆記をご希望のかたは、各開催日の2週間前までに議会事務局へお申し込みください。
※各コミュニティセンターには駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。